

令和4年度豊中市PTA連合協議会・第2回役員会
連Pスローガン「繋がろう 笑顔溢れる子どもたちのために」

7月19日（火）19時～教育センター

次第

（進行：社会教育課）

1. 会長あいさつ

仙崎会長

2. 各ブロックより報告

小学校北部ブロック

菌部副ブロック長

小学校東部ブロック

新井ブロック長

小学校中部ブロック

山本副ブロック長

小学校南部ブロック

中尾ブロック長

中学校北部ブロック

中村ブロック長

中学校南部ブロック

三間ブロック長

副会長会

保坂委員長

3. 議題案件

- ・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案
- ・市長タウンミーティング（10～11月予定）の開催希望日時
- ・安全互助制度（チラシ配布等）

4. その他

- ・役員から質疑応答
- ・事務局から連絡
- ・次回開催日程の確認

月 日（ ）19時～教育センター

※（教育委員会より報告、質疑応答）

5. 閉会あいさつ

会長代行

豊中市 PTA 連合協議会・第2回役員会 議事概要

開催日時：7月 19日（火） 19 時～21時

開催場所：教育センター研修室、オンラインとのハイブリッド形式

出席者：〈豊中市 P T A 連合協議会〉（以下、「連 P」という）

仙崎会長（豊島）、三間会長代行（庄内さくら学園中）、
岩田会長代行（14中）、中村書記（9中）、中尾広報委員長（島田）、
山本広報副委員長（緑地）、伊関顧問（桜塚）、山崎上野小PTA会長

「ズーム参加」保坂副会長会委員長（17中）、
若松副会長会副委員長（1中）、林生活安全委員長（4中）、
新井生活安全副委員長（南丘）、瀬尾副会長（東丘）

〈豊中市教育委員会〉

小野事務局長、中尾教育政策監、藤原理事、
湯浅主幹（学校運営改革プロジェクト・チーム総括者）
大澤社会教育課長、島津副主幹、佐々本主査

○次第

1. 会長あいさつ

仙崎会長から、コロナが広がっている中、貴重な時間なので有意義な会議にした
い旨、挨拶があった。

2. 各ブロックより報告（ブロック再編の内容は3. 議題案件に記載）

藪部副会長（小学校北部）から、「ブロック研究・スポーツ大会の企画検討」、
「会費返還」、「PTA活動での責任者」について話し合った旨、報告があった。
（事務局代読）

新井生活安全副委員長（小学校東部）から、「土曜遊び場開放の開催可否を熱中
症対策から苦慮している単Pがある」、「ブロック研究大会の企画を始める」、「地
域の交通安全講習会」について話し合った旨、報告があった。

山本広報副委員長（小学校中部）から、7月9日（土）に原田小でブロック研究大
会を行った。約90名が参加し、分科会ごとに教室を分かれて開催し、PTAについて
活発な情報交換が行えた旨、報告があった。

中尾広報委員長（小学校南部）から、単Pでモルック大会ができるように、各単P
にモルックを贈呈した旨、報告があった。

中村書記（中学校北部）から、「単P会費額の違いや単P予算計上の内容の特色」
「ブロック研究大会を10月に講師を呼んで開催する」「単Pでのパソコンの利用状況」
について話し合った旨、報告があった。

三間会長代行・林生活安全委員長（中学校南部）から、「ブロック研究大会をし
ない方向で話し合っている」、「副会長も入ってブロック会長会を行っているので、
ブロック内の情報共有は円滑である。」旨、報告があった。

※教育委員会より報告、質疑応答

中尾教育政策監から、学校運営にご理解ご協力いただいていることへの御礼があり、以下の事項について報告があった。

- ①コロナ状況について、感染者数増加の第7波に入り、大阪府から警戒レベルを上げる指示があった。
- ②豊中市の小中学校の児童生徒・教職員の感染者数も増加傾向で、学級休業等の措置をしている。引き続き、夏季休業中も学校と連携をとってコロナ状況に応じた対策を講じたい。
- ③熱中症対策も鑑み、状況に応じた感染症対策をするよう指示をしている。

中村書記から、熱中症対策について、具体的に教えてほしい旨、発言があった。

藤原理事から、生命を守る上で熱中症対策を優先し、体育やクラブ活動の際にはマスクを外すことや運動内容の軽減について指示をしている旨、発言があった。

三間会長代行から、6月に大阪市で起きた学校への不審メール等に関して、教育委員会から学校への情報提供について質問があった。

藤原理事から、今回の不審メールについては、他市で起きた事等を鑑み、豊中市内の学校に具体の対応を求める指示はしなかったが、大阪市に隣接する地域に関しては、教育委員会によるパトロールを強化した旨、発言があった。

併せて、引き続き、このような案件に関して、昨今のSNS等の状況も鑑み、広域な範囲での情報提供をするべきものかどうか、学校や地域の状況を踏まえ、それぞれの事案に応じた適切な対応を講じたい旨、発言があった。

仙崎会長から、5月に小学校中部ブロック内の地域で動物の死体が見つかった件について、保護者への情報提供の対応が学校によって違った旨、発言があった。

藤原理事から、事件や事故に関わっては、教育委員会は警察等との連携を密にし、事案に応じた情報提供の範囲や対応を判断し、各学校への連絡や支援を行っている。保護者に対してでもできるだけ速やかに必要な情報を提供することも欠かせないと考えている。加えて、いたずらに混乱を招いたり、過度な不安を助長したりすることを避けるよう配慮する必要もある。各校の校長は、児童生徒の安心安全を最優先に、校区の状況を踏まえて、様々な場面で即決し対応する。結果、校区によって対応が異なる場合があり得るという事をご理解いただきたい。引き続き、教育委員会として、事案に応じた適切な情報提供について対応に努めていきたい旨、報告があった。

仙崎会長から、コドモンでのPTA文書の送信依頼について、2月28日（月）役員会で当時の教育監の「PTAの連絡等でも必要なものは有効活用するよう伝えたい」旨の発言のとおり、各学校長に教育委員会から伝わっているか確認をいただきたい。画像等の送付や複雑な作業等を求めるものではなく、PTA発出の簡単なお知らせ文書のみであれば送付いただきたい旨、発言があった。

湯浅主幹から、コドモンは6月から本格運用しているが、現時点での登録率が学校によって違うので、学校から保護者への文書送付等の活用頻度において、学校によって異なる現状がある旨、発言があった。

藤原理事から、コドモンの運用状況については学校ごとに違いがあるが、コドモンに関わって、PTAからの相談には丁寧に話し合っ欲しいと各校に促したい旨、発言があった。

岩田会長代行から、ブロック内の中学校のクラブ活動について、顧問を担当する教職員不足なのか、クラブ数の減少や人数制限から1年生は入部できない等のクラブがあると聞いたが、クラブ顧問増加への方向性について教えてほしい旨、発言があった。

湯浅主幹から、クラブ顧問の不足は全国的にも問題になっているが、豊中市の中学校では、令和4年度6校に1名ずつの部活動指導員を配置したこと、また計画段階ではあるが、令和5年度には残りの11校にも1名ずつの配置を考えており、今後も部活動指導員・部活動指導協力者といった外部指導者の活用を一層生かした顧問体制を作っていきたい旨、発言があった。

中尾教育政策監から、国の動きとして「クラブ活動の地域移行」の流れもあり、豊中市でも長期的に改善していきたい旨、発言があった。

三間会長代行から、地域移行では家庭の経済状況による不公平さが課題になる。また、豊中市内の数校で設置されている大変有意義なコミュニティスクールが豊中市全体に広がることを希望する旨、発言があった。

中尾教育政策監から、地域移行での家庭の経済状況による不公平さを解消する国の費用負担の動きについて注視している。また、学校と地域が連携して勉強やスポーツをはじめ様々な場面で子ども達を見守っているコミュニティスクールについて、令和6年度には中学校での全校設置を目標にしている（南校は令和8年度の設置を目標）旨、発言があった。

3. 議題案件

・南部小中学校再編に伴う連Pブロック再編案

仙崎会長から、令和3年度に決定したブロック再編案（小学校は沿線別の3ブロック、中学校は1ブロック）について、令和4年度には下記の通り意見が届いているので、小中学校合同ブロック再編案（令和4年度版）を作成し、双方の案（R03案・R04案）を検討していきたい旨、説明があった。

①ブロックの範囲が広がり、ブロック会長会開催の際に移動が大変である。

②今後、小中一貫校が2校になるが、小中学校別ブロックでは一貫校は倍の会議に出席するのは負担が大きい。

③現在、6ブロックから14名（会長2名×6ブロック=12名、副会長2名）の連P役員を担っていただいているが、連P役員数や選出方法に検討が必要である。

併せて、事務局と相談し、双方の案それぞれの輪番表案も作成したので、連動

して輪番表案についても検討していきたい旨、説明があった。

2. 各ブロック報告から、現時点でのブロックの意見は下記の通りである。

(小学校北部) R04案では、小学生と中学生では課題が違うので、話題が異なる。学校数の比率から中学校の意見が通りにくい可能性がある。

(小学校南部) R04案に概ね賛成である。

(中学校北部) R04案は地域活動のメンバーとほぼ同一になる。

(中学校南部) R04案に概ね賛成であるが、R03案が決定して間もないことから、これからのブロック会議での議論や意見を重く考えていただきたい。また、総会でのR04案の話は議案提案ではなく、情報提供として受け止めてよいか。

仙崎会長から、上記の意見を参考に検討していきたい。特に中学校南部からいただいた内容は正論であり、総会でのR04案の話は情報提供である。今後、ブロック会議や単Pの意見を尊重して再編案の議論を進めていきたい旨、発言があった。

併せて、下記の通りの予定でブロック再編案を決定したい旨、提案があり、承認された。

- ①8月末までにR03案とR04案の長所短所をブロック内で意見を集約していただきたい。
- ②それに基づいて次回の役員会9/6(火)で議論し、双方案の長所短所を記載した資料を作成したい。
- ③その資料を参考に、9月下旬にGoogleフォームを使って単P会長58人による投票を実施したい。

・市長タウンミーティング(10~11月予定)の開催希望日時

仙崎会長から、今年度も10~11月頃の平日に、小中学校やPTAについて意見交換ができる「市長タウンミーティング」を実施したい旨、説明があった。

併せて、立候補制で出席する役員を募りたい旨、発言があった。

仙崎会長、三間会長代行、岩田会長代行、中村書記、山本広報副委員長、伊関顧問から立候補があり、承認された。

・安全互助制度(チラシ配布等)

事務局から、安全互助制度のお知らせ文書(家庭数+教職員数)を、学校連絡便で加入している52校に送付したので、加入している単Pの会員の手元に届く予定である旨、報告があった。

4. その他

・次回開催日程

事務局から、次回役員会の開催について提案があり、9月6日(火)19時~教育センター教科教育室で「第3回役員会」を開催することとなった。

5. 閉会あいさつ

岩田会長代行から、多くの単Pから色々な意見をいただいて、活発な情報交換ができる役員会にしていきたい旨、挨拶があった。